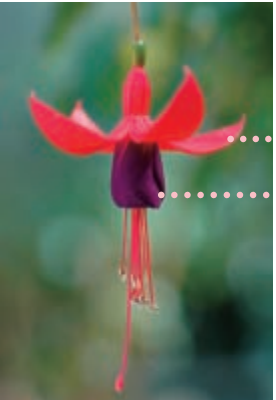




西宮市オリジナル植物の「エンジェルス・イヤリング®」。西宮市とサントリーフラワーズ(株)の共同研究で開発された。北山緑化植物園では、5~6月が見頃



がく片  
花びら



# 夏越し出来るフクシア

「Lady's earrings (貴婦人の耳飾り) の英名通り、優雅に咲くフクシア。欧米では大変人気があり、英国では花をかたどったイヤリングが販売されるほどです。暑さに弱く、日本ではなかなか普及しませんでした。夏越しできる品種が兵庫県西宮市で生まれました。

## 【人気の秘密は、色と仕立て方】

気品ある姿と共に、花の色や仕立て方の豊富さも魅力。一見すべてが花びらのようですが、外側はがく片で、花びらはその内側の部分です。がく片も花びらも、白、赤、ピンク……と様々。がく片と花びらが同色であれば、異なる場合もあり、その組み合わせでも印象が変わります。

枝が垂れ下がるタイプはハンギングバスケットやつり鉢に、コンパクトに育つタイプは鉢植えや寄せ植え向き。大きく育つタイプは鉢植えや地植えにし、途中の枝を刈り込んで、上部に丸く葉や花を茂らせて楽しむ方法もあります(スタンダード仕立てと言います)。

## 【暑さに強い品種を、西宮で開発】

涼しいヨーロッパで品種改良されてきたため、暑さに弱く、日本ではあまり知られていませんでした。暑さに強い品種を交配し、西宮で生まれたのが「エンジェルス・イヤリング®」。日陰なら、西日本でも夏越しできるようにになりました。花付きや樹形が良く、育てやすいので、今では日本中はもちろん海外へも広まっています。

## 【夏越しの注意点】

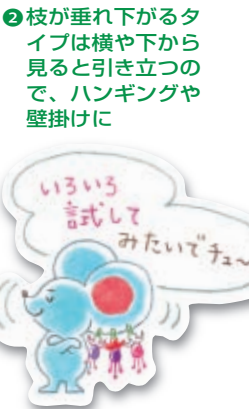
- 夏、元気がなくなると、肥料や水を与えたくありませんが、じつとガマン。梅雨を越えて気温が上がってきたら、風通しが良く、涼しい場所に置く。
  - 遮光したり、台の上に置いたりするのも有効
  - 肥料を与えない
  - 水は、土が乾いたら与える(与え過ぎると根腐れする)。時折、害虫防除も兼ねて葉水をやる
- 秋になって新芽が伸び始めたなら、日当たりの良い場所に移し、肥料を与えたり植え替えたりしましょう。



花の色や大きさが豊富で、一重咲きもあれば八重咲きもあり、花の姿も仕立て方もバラエティーが楽しめる。※開発した西宮市では、市役所の壁面緑化にも活用している



① コンパクトな品種は鉢植えや寄せ植えで玄関などに



④ ポピュラーなスタンダード仕立て



コレモ!



コレハ!